

令和7年度 議会懇談会実施報告書

令和7年12月

名取市議会

はじめに

名取市議会では、平成23年12月に制定いたしました名取市議会基本条例に基づき、令和7年度も昨年度に引き続きワールドカフェ方式による懇談会を市内3か所を会場に開催いたしました。

この懇談会は、議会に対する意見や市政に対する提言などをお聴きすることにより、本市議会の一層の充実を図り、市民の議会参加と協働のまちづくりを促進することを目的とするものです。

このたび、懇談会を通していただいたご意見・ご提言等を取りまとめましたので、ここにご報告いたします。

名取市議会は、今後も、開かれた議会の推進に努めてまいりますので、議会活動に対するご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

名 取 市 議 会

令和7年度議会懇談会開催概要

○ワールドカフェ方式による市民等を対象とした懇談会

開催日		場 所	対 象	テ ー マ	担当班	参加者数
11月 4日（火）	17:00	増田公民館 講義室	市内に在住、または 通学の高校生	・名取のイイところ 足りないところ 何でも話そう	1班	5人
11月 7日（金）	16:10	仙台高等専門学校 名取キャンパス 大教室	仙台高専名取キャン パスで学ぶ学生	・ワクワクする未来のまちづくり	2班	8人
11月13日（木）	16:10	尚綱学院大学 学生会館	尚綱学院大学で学ぶ 学生	・教えて 学生の皆さんの将来に対 する希望や悩み～若い方々の考 える住みやすい街～ 理想的な街と は	3班	18人
					合計	31人

【参考】令和7年度名取市議会懇談会の開催方法

カフェのようなリラックスできる雰囲気の中で、メンバーの組合せを変えながら、少人数で話し合いを続けることにより、深い相互理解や新しい知識を生み出す話し合いの手法である「ワールドカフェ」方式で実施した。

なお、決まった結論を得たり問題の解決を図ったりする目的ではない。

議会懇談会班編成名簿

	1班	2班	3班
班 長	菊地 忍	千葉 栄幸	小野寺美穂
班 員	二階堂 充	鈴木 英信	大友 康信
	寺嶋 雅子	今野 慎介	阿部 正義
	大久保主計	笹森 波	佐藤さやか
	吉田 良	板橋 美保	佐藤 繁樹
	郷内 良治	菅原 和子	熊谷 克彦
	大泉 徳子	山田龍太郎	長南 良彦

目 次

○ワールドカフェ方式による市民等を対象とした懇談会

- | | | | |
|---|--|-------------------|----|
| 1 | 増田公民館講義室 | (11月4日) 開催分…………… | 1 |
| | (対象)本市に在住、または通学の高校生
(テーマ)名取のイイところ 足りないところ 何でも話そう | | |
| 2 | 仙台高専名取キャンパス大教室 | (11月7日) 開催分…………… | 5 |
| | (対象)仙台高専名取キャンパスで学ぶ学生
(テーマ)ワクワクする未来のまちづくり | | |
| 3 | 尚絅学院大学学生会館 | (11月13日) 開催分…………… | 10 |
| | (対象)尚絅学院大学で学ぶ学生
(テーマ)教えて 学生の皆さんの将来に対する希望や悩み
～若い方々の考える住みやすい街～ 理想的な街とは | | |

令和7年度名取市議会 議会懇談会実施概要

対 象	市内に在住、または通学の高校生
懇 談 テ ー マ (問 い)	懇談テーマ 名取のイイところ、足りないところ、何でも話そう 問い (1) 名取のイイところはどんなところですか (2) 名取の足りないところはどんなところですか (3) 市長になったら名取をどんなまちにしたいですか

概 要

1 開 会 (進行役：菊地 忍議員)

進行役の菊地 忍議員が開会の挨拶を行った後、市議会議員の出席者紹介を行った。次に、進行役から懇談の進め方を説明した。

2 懇 談

① 懇談の概要

「名取のイイところ、足りないところ、何でも話そう」を懇談テーマとし、参加者5人がワールドカフェ方式により、市議会議員とともに意見交換を行った。

② 参加者の主な意見

(1) 名取のイイところについて

- ・飲食店が多い
- ・名産物が沢山ある
- ・なとりん号の運賃が安い
- ・図書館が大きくて使いやすい
- ・閑上の海など自然が多い
- ・公園がいっぱいある
- ・イベントが多い
- ・ツーリングができる
- ・イオンモール名取がある
- ・マンションが多い
- ・歩道が広い

- ・バッティングセンターが2つもある
- ・交通や商業の面で住みやすい
- ・都市開発が進んでいる
- ・仙台空港がある
- ・チェーン店が多い
- ・全国高等学校総合文化祭への遠征など、教育への補助がある
- ・学校行事に地域の人がたくさん来てくれる

(2) 名取の足りないところについて

- ・自家用車がないと不便
- ・大きい公園が少ない
- ・街灯が少ない
- ・信号や横断歩道が少ない
- ・車道と歩道との段差が大きい
- ・高校生が集まれるような屋根のある場所が少ない
- ・テーブルやイスのある施設が少ない
- ・夏場は雑草が多く自転車が通行しづらい
- ・遊べる施設が少ない
- ・光のページェントのような大きなイベントが少ない
- ・体育館や室内スポーツ施設が少ない

(3) 市長になったら名取をこんなまちにしたいについて

- ・体育施設をふやす
- ・スポーツ用品店を誘致する
- ・公共施設を新しくする
- ・竹の良さを広める
- ・竹のアスレチックをつくる
- ・竹あかりをつくる
- ・武道場をつくる
- ・柔道教室を定期的に関開く
- ・よい景観が見える道路をつくる
- ・名取にしかないお店を支援する
- ・実際に歩いたり住民から話を聞き、街灯が必要な場所を把握し設置する
- ・バイクやスポーツカーなどが集まる「乗り物祭り」を開催する
- ・地域住民が参加できるイベント（特にスポーツ関係）を開催する
- ・年齢を問わず遊べる施設をつくる
- ・名取市といえばこれという大きなイベントをする

(4) 全体の感想について

- ・意見を言える場が少ないので、こういう機会はとても良いと思う。
また開かれることがあれば来たい。
- ・議員と話す機会は滅多にないので、いろいろな話し合いができて良かった。
- ・テーブルが変わるごとに違う人と意見を交流できたのが良かった。
- ・議員の目線で貴重な意見を聞くことができたため、様々な見方で考えることができた。
- ・改めて名取市のことを考えると、良いところや足りないと思うところ
がいくつかあり、意見交換することで、行政に対して関心を持つことが
できた。
- ・色々な意見を聞いたこと。また自分の意見もたくさん出すことができて
良かった。
- ・名取市はもともとすごく良い街で好きなので、今回話し合ったことが改
善されれば、もっと好きになる。
- ・名取市にはおいしいご飯屋さんが多いので、もっと増えたらうれしい。
- ・公共の場も増えて欲しい。
- ・今まで特に何も考えないで登下校していたけど、その登下校中には名取
のイイところ、例えば交通の面であったり、飲食店の良いところがたく
さんあって、改めて住みやすい街だと思った。また、逆に、ここをこう
したらいいなといった意見もみんなとの話し合いの中で出てきて、いい
会に参加できたなと思った。これからもたくさん名取市にはお世話にな
っていくと思うので、いろいろな情報をみていきたいなと思った。
- ・今回は、ほかの学校の生徒がいなくて寂しかったが、多くの意見を出す
ことはできた。ほかの学校の生徒も来れば、もっとより良い意見を出す
ことができるだろうなと思った。今回の参加者のうち名取市に住んでい
る生徒は少なかったので詳しい意見が出なかったが、来年、名取市に住
んでいる生徒が多く参加できれば、より詳しい意見が出るのかなと思っ
た。来年は参加できないと思うが、名取市について考えていきたいと思
った。

(5) その他

- ・街灯が少ない（特に閑上港線） ・国道4号線バイパスが混雑する
- ・なとりん号の本数を増やしてほしい
- ・なとりんくるの料金の書き方、誤解が生じやすい「1人400円」
- ・バスの時間の情報をもっとわかりやすくしてほしい

3 まとめ

令和7年度の第1班は、昨年引き続き高校生を対象に議会懇談会を開催したが、残念ながら昨年より参加者が少なかった。インフルエンザの流行や学校行事の関係から参加者が少なかったのではないかと、この意見もあった。

参加者からは「参加して良かった」との好意的な意見も多く、次年度以降も高校生を対象とした議会懇談会の開催は継続して取り組んでいくべきと感じた。参加者が少なかった点については、日程のほか、こちらから高校に出向いての開催などを検討していきたい。



令和7年度名取市議会 議会懇談会実施概要

対 象	仙台高専名取キャンパス学生で学ぶ学生
懇 談 テ ー マ (問 い)	懇談テーマ 「ワクワクする未来のまちづくり」 問い (1) あなたがワクワクする未来のまちとは、どんなまちですか？ (2) まちのワクワク資源（人・場所・文化など）にどんなものがありますか？ (3) 将来このまちで暮らすとしたら、どんなワクワクが欲しいですか？ それを実現するために、何をしてみたいですか？

概 要

1 開 会（進行役：千葉栄幸議員）

進行役の千葉栄幸議員が開会の挨拶を行った後、市議会議員の出席者紹介を行った。次に、進行役から懇談の進め方を説明した。

2 懇 談

① 懇談の概要

「ワクワクする未来のまちづくり」を懇談テーマとし、参加者8人がワールドカフェ方式により、市議会議員とともに意見交換を行った。

② 参加者の主な意見

(1) 「あなたが“ワクワクする未来のまち”とは、どんなまちですか？」

について

- ・子育て支援が充実
- ・みんなが遊べる場所（公園など）がもっと欲しい
- ・大きいデパートがあるまち
- ・防災教育が進んでいる地域。
- ・自転車専用道路をもっと整備して欲しい
- ・イベントが多いまち
- ・電気自動車が走るまち
- ・夜でも明るいまち

- ・自由に遊べる公園があるまち（制約がない広い公園）
- ・オールインクルーシブでいつでも好きな時に食べられるまち
（税金に食事、飲み物、施設利用料、アクティビティなどの料金がすべて含まれている）
- ・高校生でも沢山交流できるまち
- ・ロボットのペットが歩くまち
- ・駅前にイルミネーションがあるまち
- ・24時間公共交通機関を利用できるまち
- ・食の多いまち
- ・音楽が聴こえてくるまち
- ・ゴミが落ちていないまち
- ・信号の赤、青のタイミングがリアルタイムでわかるまち
- ・沢山の種類の店があるまち
- ・行きたい所に行きたい時に行けるまち
- ・道路整備が完璧なまち
- ・未来のテクノロジーがたくさんあるまち

(2) 「まちのワクワク資源（人・場所・文化など）にどんなものがありますか？」について

- ・地域コミュニティーができる場所
- ・地元の市民センター
- ・ニコニコカフェ
- ・そのまちの歴史を知れる場所
- ・まちの未来について話し合える場
- ・熊野那智神社
- ・気楽に行けて遊べる場所（公園・オルレなど）
- ・安全に楽しく遊べる川
- ・町内会が活性化していること
- ・祭りやイベントごとが多いこと
- ・市民が防災を心掛けられる環境
- ・喫茶店（髭のマスターがいるような）
- ・小さな劇場（いつも舞台をやっている）
- ・映画館（名画座のような）
- ・顔が見えること
- ・誰に対しても元気に挨拶してくれる人たち
- ・遊園地
- ・室内で遊べる施設
- ・名取市のキャラクター

- ・海外の雑誌で紹介される観光地
- ・なとりん号をつかって地元を知れる

(3) 「将来このまちで暮らすとしたら、どんなワクワクが欲しいですか？
それを実現するために、何をしてみたいですか？」について

- ・どの世代でも楽しめるイベント
- ・職場まで送ってくれる車やバス
- ・駅前（西口）に施設を増やす（図書館・飲食店）
- ・毎日笑えるイベント（漫才の公演とか）
- ・駅前に高専を作る
- ・好きな事につながれる
- ・地域の人たちでスポーツができる
- ・まちの人々が集まれる場がある
- ・生きる気力がわく
- ・地域の未来について話しあえる場がある
- ・研究施設があり、集まっている
- ・公平なメカニズム（自動車運転）
- ・地域の歴史を知れる
- ・地域間の仲が深まっている
- ・将来住みたいと思える
- ・駅前でスタートアップ起業をする
- ・明るいまち
- ・いろいろなスポーツができる場所
- ・祭を増やす
- ・心が休まる場所
- ・せまい地域のつながり
- ・町内会の活性化
- ・祭などのイベントを小さく多く

(5) 全体の感想について

- ・ワクワクするまちとは何か考えることができた。今回は名取市についての話し合いだったが、名取市だけでなく他の市にも共通で活用できると思うので県内全体の発展を目指したい。
- ・直接市議会議員さんとお話することで勉強になった。
- ・名取について知らない場所やイベントなどを知ることができ、同じ高専生の名取の感じ方を知ることができた。
- ・テーブルを回り、様々な議員の方と話しすることで街灯がない所や参加していないイベントのことについて知ることができた。

- ・自分の地域や関わりのある地域について知っていることや、なってほしい未来について話し合うことができ、本当に楽しかった。
- ・自分にはない考えや知識を聞くことができ、新しい学びになった。
- ・自分の将来の夢や生活、仕事に活かせると思い参加してよかったと思えた。
- ・次回も参加したい。その時のために考えを深めたい。
- ・名取市に関わりをもって半年しかたっていないが、名取にかなり「愛」を感じており、将来、自分がこんなまちがあったら良いということ話し合える場合は、これまでなく「自分でまちをつくっていこう」という意識が芽生える機会となった。
- ・将来、名取に住むかは未定だが、自分が住みたいまちに名取市がなるように、今後もこのような機会に参加していきたい。
- ・議員さんが、自分達の意見を深掘りした質問をしてくれて、自分の考えが深まった気がした。
- ・議員さんが自分の言った意見に対して言ってくる意見の一つ一つが自分を深掘りできたり、考えの広がる場になった。
- ・お題に含まれるキーポイントである“ワクワク”についてを深く追求し、名取市の未来についてのアイデアを創出できた。
- ・コミュニティの不足という点についてを、自らの手で動かしたいと思った。
- ・結構、みんなが似たような考えなんだと思った。例えば、名取は人が少なく閑散としていることや地域のつながりが必要など。

3 まとめ

昨年度に引き続き、ワールドカフェ方式による議会懇談会を開催し、会場も同じ仙台高専名取キャンパスであったため、参加した議員は終始リラックスした状態で、参加した学生の自由な意見や思っていることを聞くことができ、実りあるものになったと感じた。

今年も想定外のインフルエンザの蔓延と熊の出没等により、参加予定の人数が大幅に減少し少人数での開催となってしまったが、それでも参加した学生が積極的に問いに向き合ってもらえたため、終始、各テーブルで熱のこもった意見表明がなされていた。今回聴取した答えやまとめを求めないワールドカフェ方式がもたらす若者の自由な発言や意見を無駄にしないよう、議員並びに市議会としてしっかりと受け止め、今後の市政運営に取り組んでいかなければならないと強く感じた議会懇談会となった。

参加した学生諸君からは、おおむね高評価をいただいたが、今回も開催の時期や手順並びに対象者や募集方法など、反省点も多く散見されたので次回以降の懇談会に向けて改善して行きたいと思う。

最後に、議会懇談会開催にあたり、ご尽力いただいた先生方をはじめ仙台高専名取キャンパスのスタッフの方々に衷心より感謝申し上げます。



令和7年度名取市議会 議会懇談会実施概要

対 象	尚絅学院大学で学ぶ学生
懇 談 テ ー マ (問 い)	懇談テーマ 教えて 学生の皆さんの将来に対する希望や悩み ～若い方々の考える住みやすい街～ 理想的な街とは 問い (1) 将来に対する希望や悩み (2) 若い方々の考える住みやすい街とは (3) 理想的な街とは

概 要

1 開 会 (進行役：小野寺 美穂 議員)

進行役の小野寺美穂議員が開会の挨拶を行った後、市議会議員の出席者紹介を行った。次に、進行役から懇談の進め方を説明した。

2 懇 談

① 懇談の概要

「教えて 学生の皆さんの将来に対する希望や悩み～若い方々の考える住みやすい街～ 理想的な街とは」を懇談テーマとし、参加者18人がワールドカフェ方式により、市議会議員とともに意見交換を行った。

② 参加者の主な意見

(1) 将来に対する希望や悩みについて

第1 自分自身のことについて

ア 希望

- ・日本一周、旅行がしたい
- ・趣味を増やしたい、極めたい
- ・作品を残したい
- ・新しいことにチャレンジしたい
- ・人脈拡大、友達を増やしたい
- ・楽観的に生きたい、ポジティブ思考になりたい
- ・やりたいことが沢山あって幸せ
- ・新しい交流イベントをつくりたい
- ・積極的に意見を言う

- ・健康的に生きたい
- ・安定した生活を送りたい
- ・長生きしたい
- ・マイホームがほしい
- ・頼られる存在になりたい
- ・公共交通の利便性の良いところに住みたい

イ 不安

- ・自立して生きていけるのか心配
- ・コミュニケーションの中で上下関係の構築
- ・自分が将来何をしているか、どんな職業をしているのか
- ・人生楽しく生きれるか
- ・心配性
- ・感情が激しい人との向き合い方
- ・漠然とした不安
- ・一人暮らしの不安
- ・飲み会などの人付き合い
- ・仕事と家庭の両立ができるか
- ・老後も安心して暮らせるか

第2 結婚について

- ・結婚して幸せに暮らしたい
- ・結婚できるか、家庭をもてるか不安

第3 親について

- ・親の介護の不安

第4 仕事について

- ・就職できるか不安
- ・就職先、どの分野での就職活動するか
- ・進路、このままで良いのか不安
- ・職に就いてもプライベートを大切にできる時間が欲しい
- ・自分の仕事に誇りを持って働きたい
- ・AI 発達による仕事の変化
- ・就職後、仕事の結果が出せるのか不安

第5 経済について

- ・給料が高くなってほしい
- ・不労所得を得たい
- ・貯金したい
- ・ガソリンが安くなってほしい
- ・就職後のお金の不安
- ・安定した収入を得たい

- ・奨学金の返済
- ・年金がもらえるか心配
- ・税金が上がっていくのか不安
- ・食糧が確保できるか

第6 地域について

ア 安心安全、自然

- ・クマの出没が多くて心配
- ・街がきれいなところに住みたい
- ・安心して街を歩きたい
- ・子どもを産み育てやすい日本になっているか
- ・災害が不安
- ・地元の将来、少子高齢化による消滅が不安
- ・日本が平和

イ 交流

- ・地域の方々と関わって健康づくりに貢献したい
- ・どんどん若い人が減っている
- ・専門的知見を活かして地域貢献したい

ウ 海外

- ・世界情勢
- ・海外に行きたい
- ・シンガポールに住みたい

(2) 若い方々の考える住みやすい街とは

第1 病院や施設等について

ア 病院等について

- ・救急等の病院がある
- ・介護施設がある

イ 買い物等について

- ・スーパー、コンビニがある
- ・大きなショッピングセンターがある
- ・駅前にお店がたくさんある
- ・衣、食、住、の店が発達している

ウ 教育スポーツについて

- ・小学校、中学校が近くにある
- ・学びの場又は施設（図書館等）がたくさんある
- ・気軽に運動ができる施設がある

エ 憩い癒し関係の施設について

- ・公園がたくさんある

- ・自然を活かした施設がある
- オ 娯楽施設について
 - ・ライフステージに合わせた娯楽施設がある
 - ・ゲームセンターがたくさんある
- 第2 公共交通等について
 - ア 公共交通について
 - ・公共交通機関が充実している
 - ・交通の便が良い
 - ・駅が多い
 - ・電車の本数が多い
 - ・地下鉄、バスがある
 - イ 道路等について
 - ・道が整備されてきれいな街
 - ・自転車専用道路がある
 - ・自動車の渋滞が少ない
- 第3 人と人との交流について
 - ア 地域交流について
 - ・地域の人々同士がつながり活気あふれる街
 - ・イベントや祭り等交流の場がたくさんある
 - ・お年寄りと子どもとの交流が多い
 - ・町内会が機能している
 - イ 心と心との触れ合いについて
 - ・気軽に挨拶を交わせる
 - ・助け合う街
 - ・人々が温かい
 - ・みんなが笑顔あふれる街
- 第4 自然環境及び生活環境について
 - ア 自然環境について
 - ・自然が豊かで景観がいい
 - ・四季を感じられる
 - ・自然がきれいな街
 - ・都会の中に自然がある
 - イ 生活環境について
 - ・ごみが少ないきれいな街
 - ・静かな街
 - ・空気がおいしい
- 第5 安全・安心の確保及び災害対策について
 - ア 安全で安心な街について

- ・治安が良い
 - ・差別がない
 - ・通学路が安全な街
 - ・街路灯がある
 - ・放送で5時のチャイムやお知らせがある
 - ・クマが出ない
- イ 災害対策について
- ・災害対策がしっかりしている
- 第6 子育てについて
- ア 子育ての環境について
- ・子育てがしやすい
 - ・遊び場が多くある
 - ・子どもが楽しめる
 - ・子どもの居場所がある
- イ 子育てへの支援について
- ・子育てへの支援が充実している
 - ・様々な補助制度（子育て、介護等）がある
- ウ 小中学校のクラスについて
- ・クラスが3つ以上ありクラス替えができる小中学校の街
- 第7 産業について
- ア 産業振興について
- ・農業、漁業、商工業等が盛ん
 - ・自分の希望する職種がある
 - ・仕事がたくさんある
- 第8 その他
- ・家賃がやすい

(3) 理想的な街とは

第1 施設について

ア 病院等について

- ・学校、病院のような施設の充実
- ・バリアフリーが多くある
- ・信頼できる大きな病院がある
- ・全ての活動拠点が駅近く

イ 買い物等について

- ・24時間営業しているスーパーがある
- ・徒歩で行けるお店がある
- ・遅くまで営業している飲食店やお店が多い

- ・昔ながらのお店がある

ウ 教育・スポーツについて

- ・遊び場がある
- ・子どもたちが遊べる場所
- ・スポーツ施設が多い
- ・運動ができる施設やチームがある
- ・気軽に運動できる場所がある
- ・健康作りが充実している
- ・学校が近くにある
- ・集中して勉強できる施設がある
- ・博物館が多い街
- ・図書館（勉強できる所）がある
- ・学校が多い街（保育園・児童館）

エ 観光・レジャーについて

- ・観光地がたくさんある
- ・娯楽に困らない街
- ・観光名所がある
- ・他の街に負けない有名で代表的なものがある
- ・暇な時でも何かできる所がある街
- ・何か誇れるものがある（食・観光地、有名なもの）
- ・温泉が沢山
- ・大きいライブ会場がある街
- ・防災ホールのような施設がある

オ その他

- ・至る所に喫煙所がある街
- ・会社が近い

第2 交通について

ア 公共交通について

- ・公共交通機関の発達
- ・駅の利便性
- ・新幹線が通っている
- ・交通手段が多く、安全

イ その他

- ・行きたい時に行きたい場所に行ける街
- ・利便性が良く快適な街

第3 自然について

ア 自然環境について

- ・海がある

イ 生活環境について

- ・景観が整った街
- ・ゴミが0の街
- ・遊べる街
- ・綺麗な街
- ・飽きない街
- ・笑顔があふれる街
- ・自然の音が聞こえる街
- ・ドライブしていて楽しい街
- ・都会的な所と自然な所がはっきりとしている街
- ・全ての年齢層が住みやすい街
- ・自然豊かで絆が多い街

第4 安心・安全について

ア 安心・安全について

- ・安全な街
- ・高齢者の方が安心して暮らせる
- ・不審者が少ない
- ・犯罪のない街

イ その他

- ・街灯が多い 夜でも暗くない
- ・人が多すぎない
- ・争いがない街

第5 交流について

ア 地域交流について

- ・地域の方々との交流が多い
- ・近所の方々と交流しやすい（人が温かい）
- ・地域の行事が盛んな街
- ・住民全員が仲良し

イ 世代間交流について

- ・年功序列がなく、いろんな世代が活躍できる街
- ・様々な年代の人が住める
- ・若い人と高齢者の方が触れ合う場所がある

ウ その他

- ・自分の子供がそこで一生暮らしたいと思える街
- ・差別がなく理解が深い街

第6 子育てについて

- ・子供が住みやすい街
- ・子育てと介護が安心してできる

第7 その他

- ・家賃が安い
- ・賃金は一定額でも土地代などは低い
- ・ガソリンが安い
- ・ごはんが魅力的な街
- ・お金がもらえる
- ・光熱費など子どもがいなくても給付があること

(4) 参加者の感想

第1 住みよい街等のテーマについて

- ・地域の将来について、じっくりと考える機会となり、また様々な人の意見を聞いて良かった。
- ・街について具体的に考え意見を出し合う機会がなかったので新鮮だった。
- ・意外とたくさんアイデアを出すことができ、他の人の意見を聞いて共感できる所も多かった。
- ・遠慮なく自分の理想を述べることができ良い経験になった。
- ・理想的な街について考える良い機会だった。
- ・街をより良くするためにどのような方法がいいか良いきっかけとなった。
- ・地元で何ができるかを考える機会となり地域に貢献したいと思った。

第2 懇談会の運営等について

- ・異なる学部 of 意見を聞くことで新しい考え方に触れることができた。
- ・ワールドカフェ方式は初めてだったが、アットホームで充実した時間を過ごすことができた。
- ・フランクに自分の意見を出すことができやすかった。
- ・話し合いの形式がラフで自分の意見が言いやすかった。

第3 懇談会での議員について

- ・議員のみなさんが話しやすい雰囲気を作り、話をまとめてくれたりして良かった。
- ・名取市の議員の方とお話しをするには非常に刺激的で社会人になるという実感がでてきた。

3 まとめ

尚絅学院大学の学生との懇談会では、18名と多くの学生が参加していただき、教授の方々をはじめ、学生のみなさんのご協力に感謝申し上げます。

学生のみなさんは、人柄や感じが良く、心地よく懇談会を進められた。

学生一人ひとりが、テーマごとに自分の将来をよく考え、活発に意見を出し合い、そして、愛着ある地域の将来の姿について勘案しながら、多角的な視点で発言をしていた。未来を担う若き大学生が地域を考え、専門知識を活かし地域貢献したいという理念に大変心強く思うと共に感嘆したところである。

今般の懇談会は、議員が若者と直接話し合う貴重な機会となり、大学生が何を考え、将来をどのように考えているか等を直接聞くことができ、大変意義深い懇談になったと思慮する。

学生の地域活性化や市民福祉の向上につながる発言、そして、結婚や奨学金の悩み等の発言に真摯に耳を傾け、若者の背中を押す政策を充実する必要があると捉えたところである。次代を担う若者・大学生のため、議会の場において若者や大学生の声を届ける必要があると思われる。

懇談会は議員もラフな服装で行ったこともあり、話しやすい雰囲気を意識的に作ったことで活発な発言を引き出したのではないかと思う。

総じて、今般の大学生との懇談会は、和やかな雰囲気で行われ、活発で前向きな発言が多く、非常に有益な懇談であった。このような懇談を引き続き積み重ねていくことが肝要と思われる。

